

せんだい社協 ニュースレター

2025年9月16日 No.2

皆様からいただいた
ご寄附を活用した
取組みをご紹介します

発行：社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
TEL022-223-2010(代表)

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-10
アースブルー EARTH BLUE仙台勾当台 7F

改修工事により仮事務所
に移転しています

子どもたち、パパ、ママの笑顔のために

みなさまからお寄せいただいたご寄附は、地域福祉を推進する様々な取組みに活用されています。

今回は、本会で実施している子育て支援事業「子育てひろば “そらっば”」をご紹介します。

活用事例

子育てひろば “そらっば”



寄附金は、消耗品や備品等に使われています。今年は、新しくボールプール（写真右前）も購入しました。

仙台市社会福祉協議会では、親子が気軽に遊びに来られる場として「子育てひろば “そらっば”」を開設しています。

日時：毎月第2土曜日 10：00～12：00

会場：宮城社会福祉センター（宮城総合支所隣接）

子どもを見守りながら、ホッとひと息つける場所を

太陽の日差しがキラキラ照りつける8月三連休の初日。この日も“そらっば”では、子どもたちが、ボールプールや絵本、ブロックなど思い思いに楽しい時間を過ごしています。子どもを見守りながら、パパ、ママも、ホッとひと息ついてほしい。“そらっば”は、そんな思いから生まれました。



子育てはエンドレス。「ここに来ると、気持ち的にも楽になるような気がします」双子ちゃんのママが笑顔で話してくれました。

あたたかな見守りの中で

“そらっぱ”は、子どもたちのあそび場としてだけでなく、保護者の交流・情報交換の場にもなっています。同年代のお子さんをもつ者同志で不安や悩みを語り合ったり、先輩ママから経験談を聞いたり話は尽きません。「大変なのは自分だけじゃないんだな…」と感じられるところ、少しだけ子どもから目を離しておしゃべりができるところ。「ここ（“そらっぱ”）に来ると、ボランティアさんや皆さんが温かく見守ってくれるから、安心できるんです。」たくさんの親子が繰り返し訪れています。



会場の入り口付近には子育て支援情報コーナーもあります。



子育ては思うようにいかないもの。大丈夫！と背中を押してあげたい。（ボランティア佐藤さん）

「下の子をみてもらえるので、ゆっくり上の子に向き合えるんです」という声も。



「下の子をみてもらえるので、ゆっくり上の子に向き合えるんです」という声も。



月1じゃなくて、毎週やってほしい！という声も寄せられています。

地域の皆さんとともに

“そらっぱ”の見守りボランティアは、子育て支援のためのボランティア講座を受けて養成された地域住民の方々です。「ここに入ってきた時と、帰って

く時のみんなの表情が違うのが分かるんです。」ボランティアの佐藤さんは、みなさんが穏やかな笑顔になっていくことが嬉しいそうです。

「将来、子育てが一段落したら、自分もこのような活動に携わってもいいかな…」と話してくれたママがいました。

温かな支援の心が受け継がれ、支え合いのまちづくりにつながっていくことを強く願います。

皆様のご支援に厚くお礼申し上げます

スマホからも寄附できます

令和6年度寄附金収入 89件 6,271,424円



仙台市社協は皆様からのご寄附を活用し、今後も地域福祉の推進に向けた支援を行ってまいります。
ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

仙台市社協 検索

TEL022-223-2010(代表) FAX022-262-1948 <https://www.shakyo-sendai.or.jp>

